

障がい者福祉に関するアンケート結果 報 告 書

公益社団法人 山梨青年会議所

2018年度、公益社団法人山梨青年会議所では障がい者福祉の事業をととても大切な事業とし、共に魅力的で活力のある山梨市を作っていく一助となるよう、事業を行っております。

この報告書は、障がいを抱える方々や保護者を含めサポートをされている方々から情報をいただき、集計したご報告となります。

この結果を参考にさせていただき、今後の青年会議所の事業へ反映させていきたいと考えております。

アンケートにご協力いただいた皆様、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

○アンケート実施概要

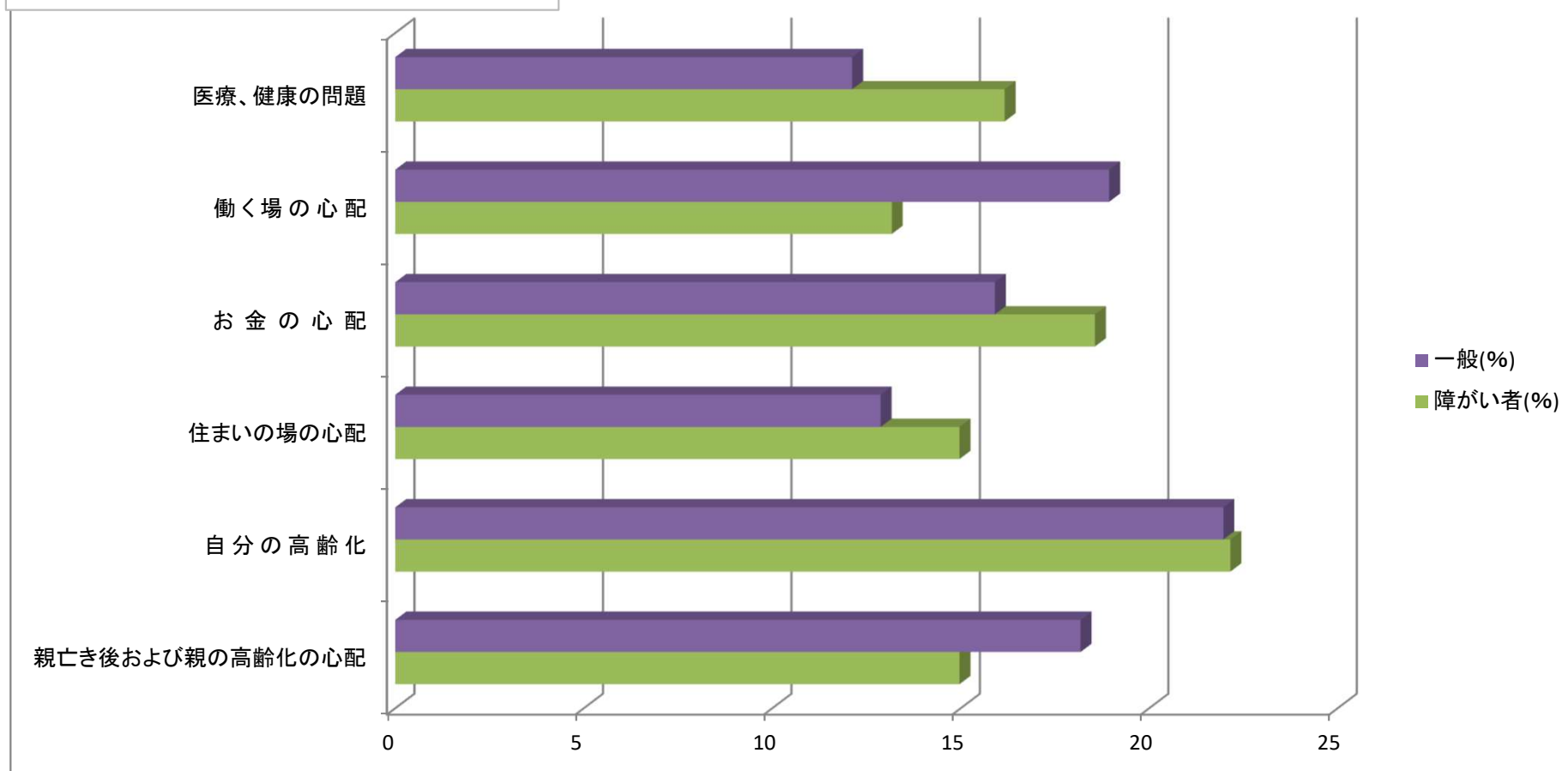
～ 一般の方々への配布分 ～

- ・総数：80部
- ・アンケート記入数：79部
- ・アンケート回収率：98.75パーセント

～ 障がい者支援施設より障害者の方々への配布分 ～

- ・総数：100部
- ・圏域内山梨市在住アンケート回答者見込み数：80名
- ・アンケート記入数：75部
- ・アンケート回収率：75パーセント

☆障がい者福祉の抱える課題について



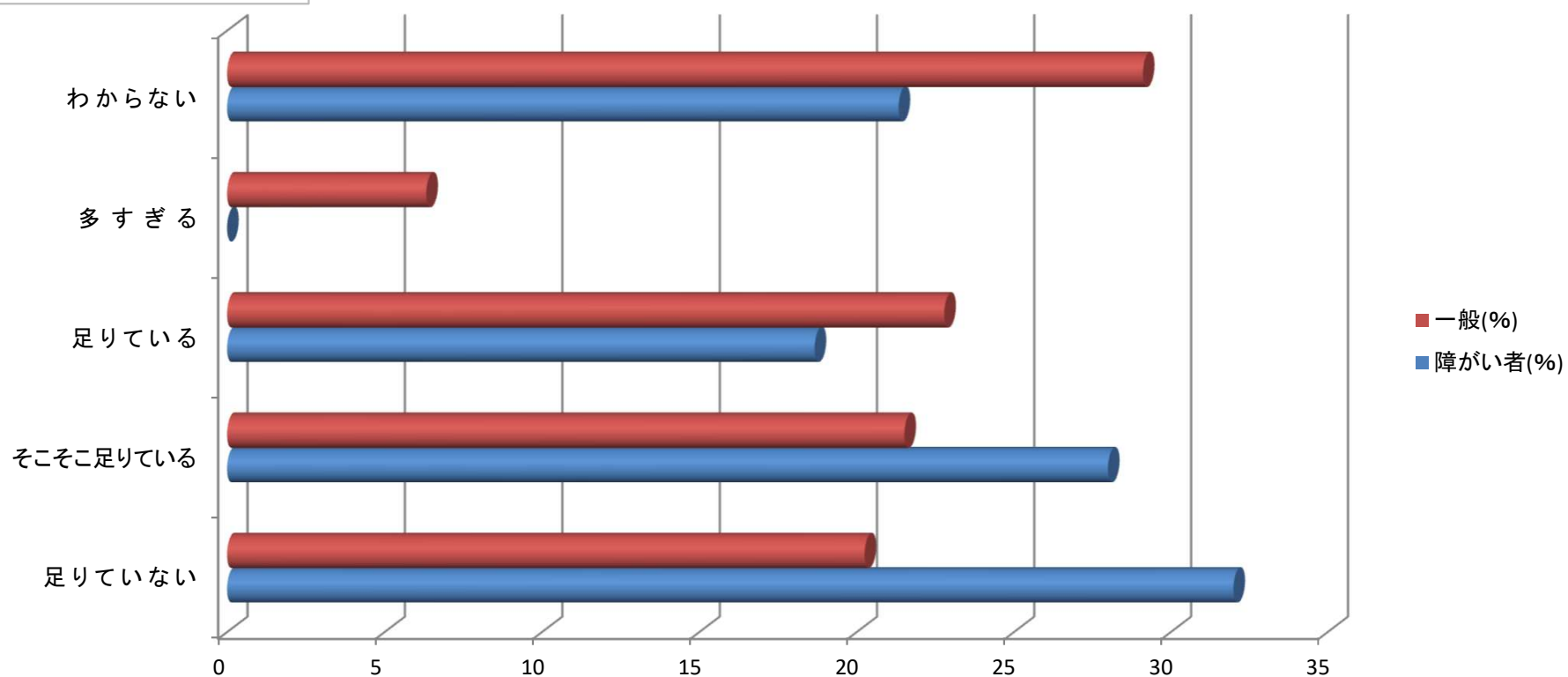
○働く場所に課題があると一般の方は思っているようです。共に働く環境が少なかったり、ふれあいを持てる所がないのがこのような結果につながっているのでしょうか。

○働く場所と親亡き後、親の高齢化の点に一般は課題があるとした割合が当事者より多いという結果になりました。

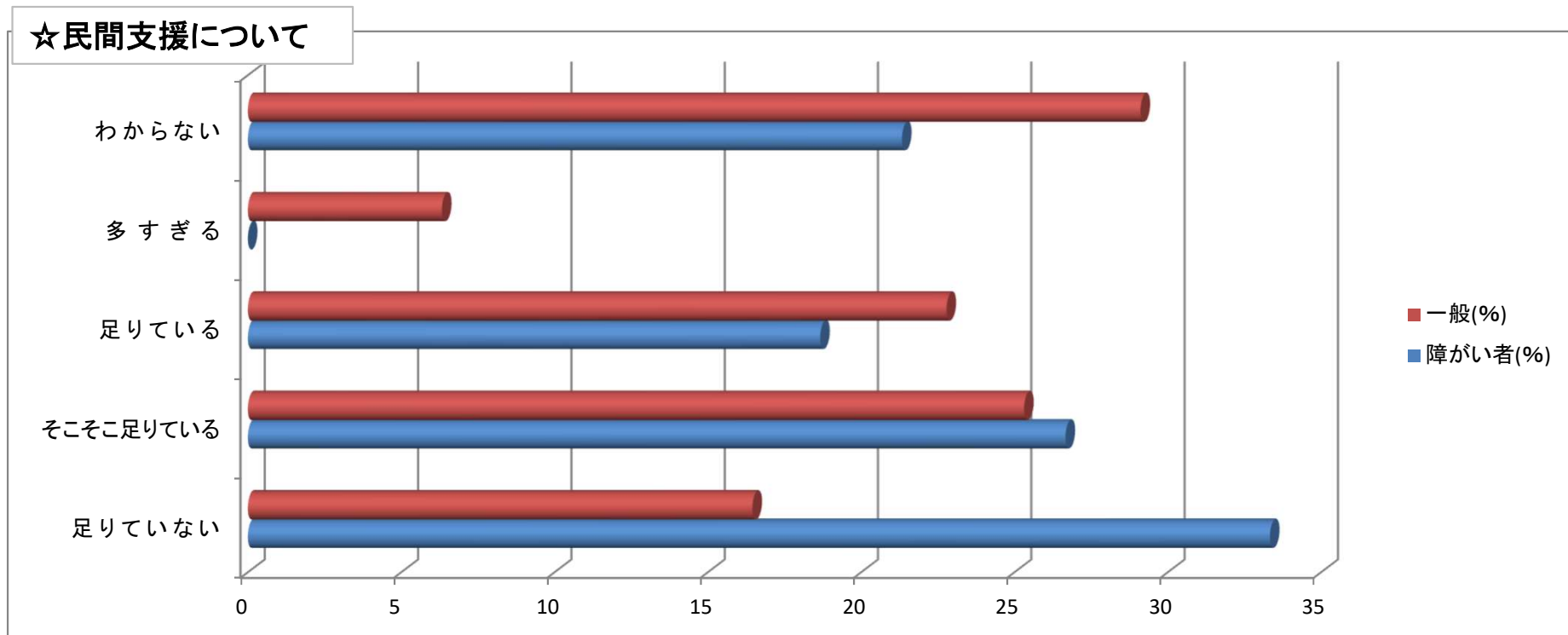
○障がい者自身の高齢化に課題があると一般も当事者も考えている割合は同じでした

○医療や健康、金銭的な課題、住まいの心配がどれも一般より障がい者本人が課題と感じています。これの多くが公民の支援で補うことができる社会づくりが必要だと感じます。

☆公的支援について



- 一般は多すぎるに投票がある
- 一般の方が割合的にわからないが多い(興味がないOR本当にわからない)
- 足りていないと投票した障がい者が多かった



- 公の支援同様、わからないと多すぎるに投票した人が多い
- 民間の支援が足りていないと投票する障害者の割合が多かった